

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-1	
事業名	郷土資料の調査収集・活用			担当課	学芸課
				経営計画	事業内容の変更
目 的	1.区民共有の財産である郷土資料を未来に継承していくために、新宿区に関する郷土資料を継続的に調査・収集し、必要な整理と修復の整備を行い、適切な環境下で保存していく。 2.展示や事業等で積極的に活用していくため、資料の整理・修復とともに資料が活用しやすい環境整備を行う。 3.新宿区の歴史・文化継承と区民へのサービス向上のため計画的な資料収集を行う。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	24,216	24,630	△ 414	部	経常増減の部
補助事業収益	0	0	0	大	事業費
区補助金	6,429	6,893	△ 464	中	1号事業費
区補助金(人件費)	17,787	17,737	50	種別	補助事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1)所蔵資料の適正な整理・保管を行なう。
- (2)広報課(現 区政情報課)フィルムのデジタル化を行い、デジタルアーカイブ推進の準備をする(計7,000本、5年計画2年目)。
- (3)閲覧図書 of 修理製本計画を基に整理や修理を行い、資料の積極的な利用を促進する。
- (4)来館者・電話等へのレファレンス、及び館蔵資料の貸出業務を行う。
- (5)平成23年度より、区内学校所蔵資料の修復、複製作成を行っている。

### 2 成果指標

※今年度達成指標 広報課(現 区政情報課)フィルムのデジタル化:1,000本  
(22年度実績:なし、23年度より新規事業)

### 3 実施上の課題

- (1)新宿区の歴史・文化継承と区民サービス向上のため計画的な地域資料収集、学校活用資料購入を実施する。
- (2)資料を積極的、かつ有効な活用をすすめるため、小中学校へのハンズオン等の活用周知を行う。
- (3)所蔵資料展や学校教育の中で、さらに所蔵資料の活用を積極的にすすめる。

### 4 実 績

	実施内容
21年度	錦絵の修復(238点)。音声資料のデジタル化(368本分)。レファレンス3,619件。
22年度	戦前の地図の修復(5点)。林芙美子関連資料の修復(9点)。レファレンス3,384件。

### 5 対前年度予算増減説明

学校所蔵資料修復・複製作成委託点数減による減(3点→2点)

根拠法令・規程	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成元年度
---------	--------------------	------	-------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-2	
事業名	写真・映像等資料の整理・活用事業			担当課	学芸課
				経営計画	統合
目 的	1.博物館事業に活用できる環境整備を行うために、博物館所蔵の写真・映像資料等をデジタル化し、劣化を防止するとともに保存管理体制を整える。 2.博物館事業や観光事業等に活用していくために、新宿の歴史・文化・町並み・地域行事などを定期的に記録し、資料として保存する。 3.博物館に対する理解や来館のきっかけとするため、新宿にゆかりのある映像作品や歴史・文化の理解につながる映像作品や歴史・文化の理解につながる映像作品を上映する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	4,671	9,737	△ 5,066	部	経常増減の部
自主事業収益	500	500	0	大	事業費
自主財源	3,354	9,197	△ 5,843	中	1号事業費
区補助金(人件費)	817	40	777	種別	自主事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) 写真資料データベースと、検索機能付き公開用写真資料デジタルアーカイブの運用を行う。
- (2) 過去の貴重な聞き取り調査等の計画的活字資料化を行い、展示会や各種講座などでの活用を進める。
- (3) 新宿の歴史・文化・街並み・地域行事などの現況を計画的に映像記録、保存を行い、各種事業や観光事業等に活用する。
- (4) 旧れきはくシネマサロン事業は、館所蔵写真映像資料を活用し、展示会等と連携した内容とする。

### 2 成果指標

有料貸出件数:500件(22年度実績:0件 写真貸出し有料化に係る区条例、同施行規則未整備による)

### 3 実施上の課題

- (1) 写真資料のデジタル複写手数料徴収のため、区条例が整い次第円滑な業務開始ができるよう、規定制定、貸出し手続き手順のマニュアル作成を行う。
- (2) 定点撮影したものは、計画的にジャンル別、地域別等に映像化し、展示や事業等で活用する。

### 4 実 績

	音声資料	写真・フィルム資料	映像テープ	整理活用点数合計
21年度	407	2,463	8	2,878
22年度	40	2,313	5	2,358

### 5 対前年度予算増減説明

写真資料データベースシステム導入完了による減

根拠法令・規程	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成19年度
---------	--------------------	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発			事業・枝事業番号	1-3-(1)
事業名	区内文化資源ネットワークの推進 (1)文化拠点ネットワーク			担当課	学芸課
				経営計画	統合
目 的	1. 区内外の人々に新宿の歴史や文化を身近に感じ、親んでもらうとともに、当館の活動を広く区内外に周知し、地域の賑わいを創出するために、地域の博物館、美術館、大学、民間企業等の拠点と協働しながら、スタンプラリー、見学会、講演会等、様々な事業を企画・実施する。 2. 地域の資源として共有・活用を図るための基盤整備を行うために、区内文化資源の各拠点を有機的に結び付ける。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	4,097	6,014	△ 1,917	部	経常増減の部
自主事業収益	150	75	75	大	事業費
自主財源	1,921	2,744	△ 823	中	1号事業費
区補助金(人件費)	2,026	3,195	△ 1,169	種別	自主事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) 四谷・落合地区の博物館・美術館との連携強化を図り、スタンプラリー等事業を行う。
- (2) 文化ネット加盟団体との連携強化を進めるため、定期的な連絡会を開催する(年に2回程度)。
- (3) 新宿駅周辺地区における文化資源ネットワークの構築を図り、スタンプラリー等の連携事業を行う。
- (4) 旧ユビキタスネットワークシステムの推進事業は、基本システム構築終了に伴い本事業に統合し、文化ネット及びユビキタスネットワーク(携帯サイト情報提供)の内容も加味したHPの充実を図る(スマートフォン対応を含む)。

### 2 成果指標

携帯サイトアクセス数:4,400件(22年度実績:前年度までは成果指標はスタンプラリー四谷文化ネット3館以上入館人数・・・99人)

### 3 実施上の課題

- (1) 区内の文化資源を有機的に結びつけ、地域の資源として共有・活用を図るため、各拠点との連携を強化する。
- (2) 地域の歴史・文化の普及開発を推進するネットワークの構築とこれを有効活用する地域の人材を育成する。
- (3) 新宿区文化芸術振興基本条例に関連するデジタルアーカイブやフィールドミュージアム環境整備に向け、新宿区との協議が必要となっている。
- (4) リーフレット作成に伴う広告料確保のための魅力あるリーフレットづくり。将来的には新宿区全域の博物館マップを作成する。

### 4 実 績

平成21年度:四谷文化ネットスタンプラリー実施(37人)、QRコードを利用した博物館資料の情報提供の試験的導入

平成22年度:四谷文化ネットスタンプラリー実施(1,534人)、QRコード四谷文化ネットでの運用

### 5 対前年度予算増減説明

ユビキタスネットワーク(携帯サイト情報提供)システム開発終了による人件費配分算定減による減

根拠法令・規程	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例、新宿区文化芸術振興基本条例	事業開始	平成21年度
---------	----------------------------------	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発			事業・枝事業番号	1-3-(2)
事業名	区内文化資源ネットワークの推進 (2)文化資源情報の集積・発信			担当課	学芸課
				経営計画	統合
目 的	1.地域の大学、民間企業、専門学校等の有する文化資源を効率的に収集し、広く区内外に周知する。 2.区内の人々に新宿の歴史や文化を身近に感じ、親しんでもらうために、区内文化資源情報を周知する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	1,103	950	153	部	経常増減の部
自主事業収益	120	90	30	大	事業費
自主財源	4	80	△ 76	中	1号事業費
区補助金(人件費)	979	780	199	種別	自主事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1)他自治体、民間企業、大学等と連携した、講座・講演会・シンポジウム・駅からハイキング等を行う。  
シンポジウム「(仮題)柳田國男と新宿」「連続講座『柳田國男』と新宿」(全3回)
- (2)他自治体、民間企業、大学等と連携した、れきはくミニギャラリーを活用した展示を行う。
- (3)「民間等と連携した機会提供事業」の内、文化講演会については、博物館を核とした文化資源情報の集積・発信につなげるため統合した。

### 2 成果指標

講座講演会等参加者数:300人(平成22年度実績:705人)

### 3 実施上の課題

- (1)区内の文化資源の発掘と、これらを有機的に結びつけ、地域の資源として共有・活用を図る。
- (2)歴史・文化・観光等に関連して、民間企業、大学等との連携を深める。

### 4 実 績

平成22年度

- (1)遠野物語発刊100周年記念事業(毎日新聞、NPO法人遠野物語研究所との協働)
- (2)特別展「酒井忠勝と小浜藩矢来屋敷」関連パネル展示(福井県ブランド営業課との連携)
- (3)関連文化講演会(NHK及び東京新聞との連携)

平成23年度 (平成24年2月現在)

- (1)連続講座「柳田國男の軌跡～福崎から新宿へ～」(兵庫県福崎町との協働)
- (2)「柳田國男の軌跡～福崎から新宿へ～」関連展示「柳田國男の生地、福崎町の風景」
- (3)柳田國男シンポジウム(東京学芸大との協働)
- (4)関連文化講演会(NHK、東京新聞等他団体との連携)

### 5 対前年度予算増減説明

民間との連携した機会提供事業「文化講演会」統合による人件費配分算定額増による増

根拠法令・規程	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成21年度
---------	--------------------	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-4-(1)	
事業名	文化財・史跡・伝統文化等の普及・啓発 (1)国史跡の普及啓発			担当課	学芸課
				経営計画	成果指標の変更
目 的	1.保護保存、普及活用に寄与するため、昭和31年に国史跡に指定された「江戸城外堀跡」の普及啓発活動を実施する。 2.文化財(史跡)の普及を図るとともに、保護保存を行うために、大正11年に国史跡に指定され、昭和50年より新宿区が管理している国史跡「林氏墓地」の公開と維持管理を行う。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	1,408	1,485	△ 77	部	経常増減の部
補助事業収益	204	176	28	大	事業費
区補助金	774	879	△ 105	中	1号事業費
区補助金(人件費)	430	430	0	種別	補助事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1)「江戸城講座」を5月中旬から6月下旬に5回開催する。
- (2)「江戸城外堀跡史跡めぐり」を6月に開催する。
- (3)11月の文化財ウィークにあわせ、林氏墓地の公開を3日間行う。
- (4)林氏墓地関連史跡めぐりを11月に実施する。
- (5)林氏墓地内樹木の剪定を年間2回、除草を年間3回実施する。
- (6)林氏墓地史跡内墓石現状調査を年に1回実施する。
- (7)参加者数実績に伴い成果指標を変更する。

### 2 成果指標

- (1)参加者数:600人(22年度実績:787人)
- (2)経営計画 参加人数1,963人→600人へ減

### 3 実施上の課題

- (1)林氏墓地の公開は、PR強化をするとともに、周囲の文化財や関連する場所等と連携することにより見学者の増加を図る。
- (2)林氏墓地の墓石、樹木環境整備について、新宿区との協議が必要となっている。

### 4 実 績

各種講座参加人数

(単位:人)

	江戸城講座	江戸城史跡めぐり	林氏墓地公開	林氏史跡めぐり	合計参加人数
21年度	-	-	315	41	356
22年度	362	54	340	31	787
23年度	538	66	266	34	904

※平成24年2月現在

### 5 対前年度予算増減説明

同時期開催事業(「林氏墓地の公開」「新宿区伝統芸能フェスティバル」)のポスター一体化による減

根拠法令・規程	文化財保護法、新宿区文化財保護条例、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成21年度
---------	---------------------------------	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-4-(2)	
事業名	文化財・史跡・伝統文化等の普及・啓発 (2)高田馬場流鏑馬の公開			担当課	学芸課
				経営計画	継続
目 的	1.高田馬場流鏑馬(昭和63年、新宿区無形民俗文化財に指定)を主催する高田馬場流鏑馬保存会への支援・協力を行うことにより、保存・継承・普及に寄与する。 2.新宿区を代表する伝統行事である「高田馬場流鏑馬」を区内外に広くPRする。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	3,331	3,348	△ 17	部	経常増減の部
補助事業収益	0	0	0	大	事業費
区補助金	3,056	3,075	△ 19	中	1号事業費
区補助金(人件費)	275	273	2	種別	補助事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1)実施日時 10月8日(月・祝)14時～
- (2)会場 都立戸山公園 箱根山地区
- (3)主催 高田馬場流鏑馬保存会
- (4)後援 新宿区、新宿区教育委員会、東京都教育委員会(いずれも予定)
- (5)協力 穴八幡宮、新宿歴史博物館

### 2 成果指標

観覧者数:3,500人(22年度実績:3,700人)

### 3 実施上の課題

毎年3500人を超える観覧者が集まるため、安全性を重視した運営を行う。

### 4 実 績

平成20年度 観覧者数:3500名  
 平成21年度 観覧者数:3700名  
 平成22年度 観覧者数:3700名  
 平成23年度 観覧者数:3700名 ※平成24年2月現在

### 5 対前年度予算増減説明

英語版チラシ印刷枚数減による減(5,000枚→4,000枚)

根拠法令・規程	文化財保護法、新宿区文化財保護条例、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	昭和54年度
---------	---------------------------------	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-4-(3)	
事業名	文化財・史跡・伝統文化等の普及・啓発 (3)新宿区伝統芸能フェスティバル			担当課	学芸課
				経営計画	成果指標の変更
目 的	1.区指定無形文化財「戸塚囃子」「萩原社中里神楽」、登録無形文化財「落合餅つき唄」の上演場所を提供。保存と育成を図る。 2.名誉区民をはじめ、区内在住の伝統芸能の技術を有する方の実演を行い、技能の公開・継承に寄与していく。 3.新宿とは性格の異なる地域の団体も招き、新宿の民俗芸能・伝統芸能をより深く理解して、保護と活用に貢献していく。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	1,281	1,239	42	部	経常増減の部
補助事業収益	66	60	6	大	事業費
区補助金	1,018	1,062	△ 44	中	1号事業費
区補助金(人件費)	197	117	80	種別	補助事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) 平成24年10月～11月の土曜日 1回開催 午後2時～5時(予定) 観覧料300円(小・中学生は無料)  
 出演団体 区指定2団体・区外1団体・区名誉区民1団体(予定)  
 区名誉区民出演は総務課と連携して実施  
 会場 四谷区民ホール
- (2) 観覧者数実績に伴い成果指標を変更する。

### 2 成果指標

- (1) 観覧者数:360人(22年度実績:206人)
- (2) 経営計画 参加人数377人→360人へ減

### 3 実施上の課題

- (1) 上演会だけではなく、地域の団体と連携を深め、地域に伝わる唄等を保存継承していく視点で事業展開をする。
- (2) 外国の方にも伝統芸能を紹介するとともに、区民等に積極的に周知する。

### 4 実 績

平成21年度 11月21日(土) 於:四谷区民ホール  
 観覧者数187人(有料観覧者数103人) 出演団体5団体  
 平成22年度 10月23日(土) 於:四谷区民ホール  
 観覧者数206人(有料観覧者数94人) 出演団体5団体  
 平成23年度 11月26日(土) 於:牛込笹塚区民ホール  
 観覧者数288人(有料観覧者数217人) 出演団体6団体

### 5 対前年度予算増減説明

区内民俗芸能団体育成に係る連絡、調整業務に係る人件費配分算定増による増

根拠法令・規程	新宿区文化財保護条例、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成9年度
---------	--------------------------	------	-------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-5-(1)	
事業名	新宿区の歴史・文化の普及・啓発 (1)展示会の開催			担当課	学芸課
				経営計画	成果指標の変更
目 的	1.新宿の歴史・文化に理解を深めるため、常設展示で取り上げていないテーマに関して展示会を行う。 2.区民等に新宿の歴史・文化に接する啓発を行うため、普段は展示・公開していない博物館の所蔵資料を公開する。 3.多様な機関との連携構築による展示会を開催する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	37,133	37,913	△ 780	部	経常増減の部
補助事業収益	3,000	1,600	1,400	大	事業費
区補助金	12,095	13,906	△ 1,811	中	1号事業費
区補助金(人件費)	22,038	22,407	△ 369	種別	補助事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1)特別展:中村彝と新宿ゆかりの芸術家たち  
平成25年3月16日～3月31日16日間  
《全会期:平成25年3月16日～5月12日56日間》
- (2)所蔵資料展4回開催  
①「寄贈資料展 未来へ託すモノ」会期 平成24年4月28日～6月10日  
②「お弁当箱-食器の美と技-」会期 平成24年6月16日～8月19日  
③古写真で見る新宿の文化財・史跡」会期 平成24年8月25日～10月14日  
④「写真展『記憶の中の新宿 I』」会期 平成25年1月12日～3月3日
- (3)協働企画展:(仮称)「新宿区内企業のお宝展」  
東京商工会議所新宿支部に加盟している新宿区内民間企業と連携し、各社が所有、所蔵する、歴史的資料や美術工芸品を紹介する。  
会期 平成24年10月27日～12月24日
- (4)観覧者数実績に伴い成果指標を変更する。

### 2 成果指標

- (1)観覧者数:22,000人(22年度実績:20,389人) (2)経営計画 参加者数28,000人→22,000人へ減

### 3 実施上の課題

- (1)区民の共有財産である所蔵資料を活用した歴史・文化の普及と多様なメディアを利用した積極的PRを行う。  
(2)より多くの文化資源の公開・活用をめざすため、区内外の協働連携機関を求める。  
(3)巡回展等魅力ある展示会を開催する。

### 4 実 績

- (1)特別展:平成22年度 「佐伯祐三展-下落合の風景」(会期42日間の37日:4月1日～5月9日)5,332人  
「酒井忠勝と小浜藩矢来屋敷」(会期61日:7月17日～9月19日)3,249人
- (2)所蔵資料展:平成22年度  
所蔵資料展3回「牛込の文士たち」2,650人(会期48日:5月22日～7月4日)  
「新宿風景1(戦前編)」3,641人(会期54日:10月2日～11月28日)  
「新宿風景2(戦後編)」2,700人(会期48日:12月4日～平成23年1月30日)
- (3)協働企画展:平成22年度  
新宿中村屋との協働企画:「新宿中村屋に咲いた文化芸術」  
(会期47日間の36日:2月19日～3月31日)3,097人(1日平均110.6人)

### 5 対前年度予算増減説明

有償展示図録作成に係る印刷経費を博物館指定管理事業へ組み換えることによる減

根拠法令・規程	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成22年度
---------	--------------------	------	--------



# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発			事業・枝事業番号	1-5-(2)
事業名	新宿区の歴史・文化の普及・啓発 (2)ミニ博物館の支援			担当課	学芸課
				経営計画	名称の変更
目 的	1.歴史・文化資源の保護と活用を図るため、区内の文化資源・産業の実態を展示公開しているミニ博物館の支援を行い、地域文化の核とする。 2.民間の歴史・文化資源の保護・育成を図るとともに、区民が親しめる拠点として充実させる。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	1,514	1,513	1	部	経常増減の部
補助事業収益	0	0	0	大	事業費
区補助金	1,317	1,317	0	中	1号事業費
区補助金(人件費)	197	196	1	種別	補助事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1)ミニ博物館パンフレットのうち、在庫僅少のものを増刷する(二葉苑、熊野神社、太宗寺)。
- (2)看板等設備の修繕を行う。
- (3)区内の伝統工芸に関する講座等を開催し、ミニ博物館との連携を進める。
- (4)博物館ミュージアムショップにてミニ博物館商品の販売を行う。
- (5)旧ミニ博物館の支援事業は、ミニ博物館が各館による自主運営が基本であることに鑑み、名称を変更する。

### 2 成果指標

※今年度達成指標:パンフレット増刷(3か所)

### 3 実施上の課題

身近な文化資源として一層、活用・周知を展開する。

### 4 実 績

- 平成21年度
- (1)パンフレットの印刷(二葉苑、太宗寺)
  - (2)二葉苑と連携し、地場産業講座を開催
- 平成22年度
- (1)パンフレットの印刷(染ものがたり、熊野神社、つまみかんざし、目白学園)
  - (2)熊野神社看板の修繕
  - (3)二葉苑、染ものがたり博物館と連携し、地場産業講座を開催

### 5 対前年度予算増減説明

ミニ博物館設備老朽化(看板、ショーケース)調査に伴う人件費配分算定増による増

根拠法令・規程	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成3年度
---------	--------------------	------	-------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-5-(3)	
事業名	新宿区の歴史・文化の普及・啓発 (3)各種講座－講座・講演会			担当課	学芸課
				経営計画	成果指標の変更
目 的	1.歴史や文化財に興味を持ってもらい、学ぶことの楽しさを体験することで、親しみやすく身近な博物館へつなげる。 2.機会と場の提供を行い、歴史や文化に対し学ぶきっかけづくりを行っていく。 3.受講者のニーズに合ったテーマを設定し、座学・実技・見学等バランス良くバリエーションのある内容・形態で構成し、参加者満足度を高める。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	1,346	1,664	△ 318	部	経常増減の部
自主事業収益	1,108	1,200	△ 92	大	事業費
自主財源	△ 37	△ 121	84	中	1号事業費
区補助金(人件費)	275	585	△ 310	種別	自主事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) 歴史講座(全5回 単回受講可;9～10月 定員60名 全回2,000円 1回500円)
- (2) 古文書講座 初級編(連続5回;5～6月) 中級編(連続5回;9～10月)各定員60名 2,000円
- (3) 美術史講座(全4回 単回受講可;定員80名 全回2,000円 1回500円)(隔年開催)
- (4) 学芸員と学ぶ新宿の歴史・文化講座(連続7回;5～12月 定員60名 3,000円)月曜午前コース
- (5) 伝統工芸講座(ア ミニ博物館 イ その他)(2回 定員30名)
- (6) 水彩色鉛筆講座 新規
- (7) 所蔵資料展関連講演会(4回;4月、7月、10月、2月 定員60名)4展示会で各1回予定 1回500円
- (8) 「学芸員と学ぶ新宿の歴史と文化」講座、夜間実施分中止により、成果指標を変更する。

### 2 成果指標

- (1)参加者数:2,100人(22年度実績:2,251人)
- (2)経営計画 参加者数2,500人→2,100人へ減

### 3 実施上の課題

- (1) アンケート結果をもとに受講者の多様なニーズに応えられるよう、土、日曜日以外の平日(月曜日を含む)や夜間に講座を提供し選択肢を広げる。
- (2) 博物館ボランティアの企画段階からの参画を推進する。
- (3) 古文書講座等では、受講者の自主的な活動や組織づくりを援助する。

### 4 実 績

平成21年度 23講座(延57日)、定員1,840人(延3,370人)、当選者2,058人、延受講者数3,631人  
平成22年度 20講座(延51日)、定員940人(延2,440人)、当選者908人、延受講者数2,251人

### 5 対前年度予算増減説明

「学芸員と学ぶ新宿の歴史・文化」講座、夜間実施分実績に伴い中止による人件費配分算定減による減

根拠法令・規程	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成19年度
---------	--------------------	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発			事業・枝事業番号	1-9-(1)
事業名	博物館ボランティア (1)ボランティアの活動			担当課	学芸課
				経営計画	成果指標の変更
目 的	博物館・記念館等を拠点として、区民との協働と参画による事業を積極的に展開し、新宿の歴史・文化の継承、普及に資すると共に、親しまれる魅力ある博物館づくりを推進する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	5,118	5,881	△ 763	部	経常増減の部
補助事業収益	0	0	0	大	事業費
区補助金	2,070	2,139	△ 69	中	1号事業費
区補助金(人件費)	3,048	3,742	△ 694	種別	補助事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

#### (1) ボランティアの活動

- ① 展示ガイド・・・常設展、所蔵資料展4回、特別展1回、協働展2回の展示案内
- ② 史跡ガイド・・・歴史文化探訪6回、林氏墓地1回、江戸城外堀1回等
- ③ 林芙美子記念館ガイド・・・林芙美子記念館の案内、内部公開、庭園観賞会、落合の追憶等
- ④ 佐伯祐三アトリエ記念館ガイド・・・佐伯祐三記念アトリエ案内、落合の追憶等
- ⑤ 事業サポート・・・講座補助、閲覧室補助、メンバーズ通信発行、チラシ発送業務、ガーデニングクラブ等

#### (2) ボランティアの運営

- ① ボランティア全体会 年2回
- (3) ボランティアの参画状況を的確に把握するため、成果指標を変更する。

### 2 成果指標

- (1) ボランティア登録者数:150人(22年度実績:130人)
- (2) ボランティア活動回数:1,400回(22年度実績:3,116回)
- (3) 従来の指標 参加者数→登録者数、活動回数

### 3 実施上の課題

- (1) ボランティア全体のガイド技術等の向上を図る。
- (2) 博物館事業への積極的な参画を図るとともに、活動の場の提供を進める。
- (3) 自主的活動を支援すると共に、地域の人的資源として位置づける。
- (4) 史跡ガイドボランティアによる選定コース策定を行う。
- (5) 各地域におけるボランティアの主体的な活動をコーディネートする。

### 4 実 績

	登録者数	延人数	活動回数
21年度	98	159	1,197
22年度	130	240	3,116
23年度	136	232	-

(平成23年4月現在)

### 5 対前年度予算増減説明

ボランティア活動用配布資料印刷用インク代実績減による減

根拠法令・規程	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成15年度
---------	--------------------	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-9-(2)	
事業名	博物館ボランティア (2)ボランティアの育成			担当課	学芸課
				経営計画	事業規模の変更
目 的	1.団塊の世代等、歴史や文学・美術等に関心がある方に博物館ボランティアとして参加してもらう機会を提供する。 2.博物館・記念館等を拠点として、区民との協働と参画による事業を積極的に展開し、新宿の歴史・文化の継承、普及に資すると共に、親しまれる魅力ある博物館づくりを推進する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	733	1,347	△ 614	部	経常増減の部
補助事業収益	0	0	0	大	事業費
区補助金	379	373	6	中	1号事業費
区補助金(人件費)	354	974	△ 620	種別	補助事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) レベルアップ講座:年2回開催
- (2) 部会別研修  
 史跡ガイド研修:歴史文化探訪・江戸城外堀めぐり・林氏墓地公開関連町歩きの座学・実踏を8回開催  
 展示ガイド研修:所蔵資料展・特別展・協働企画展の事前研修を6回開催  
 記念館ガイド研修:落合文化ネット関連歴史散歩実踏3回と部会研修会1回開催  
 アトリエガイド研修:落合文化ネット関連歴史散歩実踏3回と部会研修会1回開催
- (3) バス研修:年1回
- (4) 新規ボランティア養成講座
- (5) 平成22年度より佐伯祐三アトリエ記念館にてガイドボランティア開始に伴い事業規模変更

### 2 成果指標

新規ボランティア養成講座参加者数:30人(22年度実績:13人)

### 3 実施上の課題

新たな需要に対応した講座の展開を企画する。

### 4 実 績

新規ボランティア登録者数(新規ボランティア養成講座受講者中)  
 平成20年度 34人(受講者50人中)  
 平成21年度 31人(受講者48人中)  
 平成22年度 13人(受講者19人中)

### 5 対前年度予算増減説明

人件費配分算定減による減

根拠法令・規程	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成15年度
---------	--------------------	------	--------